



左のあやうくを改訂約と見考見り

川原君と読の上やしるべき

此稿を正しくし

正

p. 68

マルコ十四ノ三十四「死ぬるばかり」  
「死ぬるばかり」

マルコ廿六ノ三十八「死ぬるばかり」  
「死ぬるばかり」

（注）ルカ八ノ四十二「死ぬるばかり」  
「死ぬるばかり」

マルコ十五ノ廿五

九時頃

九時頃

マルコ五ノ廿五

九時頃

九時頃

以上

二月二十四日

郵便は



神戸市江戸町

245

英子愛子 申上馬下

東京市赤坂區新山高樹町七番地

別所梅之助

改訂へつん十三の廿「永遠の契約の血によりて羊の大牧者と有れら  
 神の主イエスを、死人の中より引きあげ、」とありあはく  
 ばし、「死人の中の上の「永遠の契約の血によりて」をいひ  
 うされたし、あるか、て二重なわけならん、右「オス監督の  
 御注をあんぐり中」に  
 「オス監督の「一〇三」の「神」は「神」となる、  
 此方をもみつけ、オス監督「うら」はあな  
 うされたる

五月二日

わかたはる神  
 おらる父の神

郵便往復はかき  
( 返 信 )



神戸市江戸町九拾五番  
英國聖書會社 御中

東京市赤坂區雲山高樹町廿番地

印刷所 謹啓

お尋ねの事左に御覧申し申す

使役行符ハの廿六

カキの原稿は「ガサ」と申す

九の廿九

その一のぬく「カリシヤ<sup>ことば</sup>」を「し」とす

マタイ廿五の四十五

四十節とあるに「言は、四十節同様

「おまじでさいとおひひす」

三月廿一日

郵便はかき



神戸  
江戶

九十五

英子  
寄  
在  
江  
戶





郵便はかき



神戸市江戶町

九月五

英子 豊吉 全社 御中

コリト決書の最次の決は町のあぢうん中しるものなり  
 一節分けるはかきするも有り、コニル勿し不存のこし  
 らんをりは多く此とあなり方々しけれぬ、あ  
 中却通うんたをいとも私一人は格別異存これな  
 り  
 たいしウエスコアトホルト協のキリと中文書も十三節  
 ありをりあり、子ツスレと同じく即ち中身の改訂に  
 あり

九月十号

以上